



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 バ ナ ー ズ
代 表 者 代表取締役 小林由佳
(コード番号 3011 東証第二部)
問 合 せ 先 経 理 部 部 長 安藤功
電 話 (048)523-2018

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期から平成 34 年 3 月期までの中期経営計画（5 か年計画）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、主として商業テナントの賃貸を行う不動産利用事業、連結子会社である株式会社ホンダニュー埼玉による自動車販売事業、日本ダブルリード株式会社による楽器販売事業及び平成産業株式会社による建材販売事業を展開しております。

このうち、当社単体の事業であり、グループ全体の収益の柱であります不動産利用事業におきましては、近年の少子高齢化などの社会状況の変化や地域社会のニーズの変化に合致した、地域住民に愛され親しまれる生活密着型の店舗・施設作りやテナント誘致を推進いたしてまいりました。

平成 23 年 3 月の東日本大震災の発生等を踏まえ、平成 25 年度通常国会において「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が改正され、一定の建築物等に対し、耐震診断が義務付けられることになりました。当社の所有する主たる賃貸物件のうち埼玉県本庄市内にある鉄筋コンクリート造 3 階建の建築物は耐震診断の対象に該当する建築物であり、当社は法令に基づく耐震診断を受診いたしました。その結果、耐震性能に大きな問題はないとの診断結果が出ましたが、当社と致しましては当該建物の築年数なども考慮し、建替を行うとともにこれを機会に建物の構造や賃貸面積の最適化を図り、賃貸収入の増大に向けた施策を実現すべく、既存テナントとの交渉や新規建物の企画など鋭意努力を傾注してまいりました。

今般、既存テナントや新規テナントとの交渉が進展し、当社に対し諸テナントから出店の意向が示され、当社といたしましては、長期安定的な収益確保を目的として、当該建物を建て替えることと基本決定致しました。今後、近々に建替工事の計画決定や設計施工等を行う業者等の選定を行うとともに、当社と諸テナントとの間で「土地建物賃貸借予約契約」等を締結する予定であります。

これらの計画の実施に伴い、向こう 5 か年の間に当社グループの経営成績には売上高の変動等（建替えに伴う一時的な賃料収入の減少や取壊す建物の除却損の発生、新規建物竣工後の賃料収入の増大等）が生ずる見込であるため、中期経営計画（5 か年計画）を策定いたしました。

なお、この中期計画は、売上高の増大・減少や除却損の発生などについて、現段階での入手可能な情報に基づいて策定いたしました。計画に大きな変更が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 予定される新規テナントとの賃貸借契約の概要

- (1) テナント名 : 株式会社ベルク・他 7 店舗
- (2) 物件名 : ベルク本庄店 (仮称) 他
- (3) 賃貸面積 : 5,740 m² (大型 2 棟)・1,395 m² (中型 2 棟)
- (4) 建築費用 : 総額約 16 億円 (一部建築協力金方式)

今回の建設計画の概要は、当社所有の本庄市内の商業施設内にある既存の鉄筋コンクリート造 3 階建の建物の隣地に鉄骨造平屋建の大型建物 1 棟を新築し、その後、その既存の建物を取壊し、鉄骨造平屋建の大型建物 1 棟をさらに新築致します。その他に中型の鉄筋コンクリート造の建物 1 棟、中型の鉄骨造の建物 1 棟、合計 4 棟の建物を 2 期にわたり新築する予定です。そしてそれらを上記テナントに賃貸するものであります。

3. 数値目標 (連結)

	平成 29 年 3 月期 (実績)	平成 30 年 3 月期 (予想)	平成 31 年 3 月期 (計画)	平成 32 年 3 月期 (計画)	平成 33 年 3 月期 (計画)	平成 34 年 3 月期 (計画)
売上高	4,218 百万円	3,915 百万円	4,017 百万円	4,118 百万円	4,242 百万円	4,348 百万円
営業利益	200 百万円	174 百万円	171 百万円	176 百万円	203 百万円	209 百万円
経常利益	199 百万円	163 百万円	169 百万円	177 百万円	202 百万円	207 百万円
税引前利益	190 百万円	163 百万円	169 百万円	△202 百万円	202 百万円	207 百万円
売上高経常利益率	4.55%	4.16%	4.20%	4.29%	4.76%	4.76%

(注) 本資料に記載の将来に係る一切の内容は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報から推計したものであり、実際の業績や成果につきましては今後の様々な要因により、これらとは大きく異なる結果となる可能性があります。

以上